

一般シンポジウム S02

若手の海外挑戦とそこから学ぶ次世代創薬研究

Challenges of Young Chemists to Be Global

小松 徹¹, 伊藤 幸裕²

¹東大院薬, ²京都府医大院医

創薬の国際化が急速に進む今、多様性と世界的視野をもって創薬研究を行うことの重要性が増してきている。研究者個人が、多様性に触れ、世界的な視野を広げるには、異国の地での学びや出会いが最良の機会となるであろう。しかしながら、その一方では、次世代を担う若い世代の「留学離れ」の加速が問題視されている。本シンポジウムでは、海外留学の経験を活かし、自身の研究を発展させている、あるいは、現在海外を拠点に活躍している有機化学、創薬化学、ケミカルバイオロジー分野の新進気鋭の研究者による講演を通じて、創薬研究における海外留学の意義について改めて考える機会とし、かつ、若い世代の創薬研究者の国際的視野を育む場としたい。海外で研究することの楽しさ、苦しさを含めた経験を共有いただくと共に、講演者の実践している留学経験に基づく研究を通じて、国際的な創薬研究の潮流と日本の創薬研究の在り方についても活発な議論を交わす契機となれば幸いである。